

モニター通信 No.5

皆さんから寄せられた「モニター通信1月分」を紹介します。

「私の景況感」

～ここ1年位で、景気・物価・賃金などご自身の生活の変化や感じたこと～

モニターから No. 1

正直、この1年で景気が良くなったとは感じていません。おそらく給与が上がっていないからだと思います。ニュースなどでは、景気回復したと感じている人は2割とのこと。雇用が増えてきてはいると思うので、もう少ししたらアベノミクス効果が実感できるのではないかと期待しています。

モニターから No. 2

世の中の動きというよりは、自分の生活の変化についてです。子供がある程度手が離れたので、パートタイムで働きに出ることが出来るようになりました。微々たる額ではありますが、子供の習い事に使えるお金が増え、時々には自分にご褒美を買うことが出来るようになりました。

物を買う時に、以前は家計に負担をかけないよう、とにかく安いものをと考えていましたが、最近では少し値が張っても品質を重視出来るようになりました。もちろん、自分の中で価格と品質の折り合いをどこでつけるかは今後も色々変化するかと思います。家族や自分が心地よく暮らせるよう、収入と支出のバランスを考えて生活していきたいと思っています。

モニターから No. 3

私は10年前に会社をリタイアし現在に至っておりますが、最近特に物価が全面的に高くなってきていることを肌身にひしひしと感じられる今日この頃である。安倍政権になり、アベノミクスなる物の3本の矢も夫々効果が上がったとマスコミ等で報道され、更には新3本の矢も放たれるとの事ですが、私にはあまりその恩恵には浴さないと感じられる。

しかし、世の中悪い事ばかりではないと思う。それは、会社勤めの若い人の給料が上がり、消費活動が活発化すれば、全体的に社会が明るくなると思います。リタイアした今、若い人たちの生活向上に少しでも役立つような社会活動に協力・参加出来ればと思っております。

モニターから No. 4

機能性食品の制度が導入されたことで、気になります。特定保健用食品(トクホ)より簡単に消費者庁に届け出ただけで、食品等対象の幅も広い。本当に体に良い、効くと書かれていても薬とは違う。食べ過ぎる、食べ続けるといったことも考えられます。

消費者庁、そして事業者などにも大きな責任があると思いますが、まずは消費者自身が良く考えて上手に利用していきたいです。

モニターから No. 5

景気が良くなったとは思えない。一部上場企業のみが良くなっただけと思う。土浦市は市役所の移転、消防署の移転等で税金があがると思うし、消費税もあがる……。旅行にしても食品にしても、安いのはそれなりの理由があるだろうし。一般市民が景気が良くなったと感じるには、まだまだ時間がかかると思います。

モニターから No. 6

現在、夫と二人暮らしで収入は夫の年金です。ですから多くの企業で業績が上がり、その結果従業員のボーナスや給与が上がっても、我が家は何の変化もありません。それよりも、生活に直接関係してくるのは物価です。消費税が5%から8%に増税された後、スーパーでは様々な商品の値段が上がったり、また内容量が減ったりしましたが、最近はそのが落ち着いているように感じます。またこのところ、原油価格が下がっているおかげで、車の燃料費が抑えられています。それだけでなく、原油が安いおかげで運送業界やクリーニング業界の苦境を耳にすることなく、これらの値上げを心配する必要もありません。

ただ、気にかかっているのは株価の値下がりです。年金資金のかなりの部分が株価に頼っています。株価が下落すると支給される年金の金額もいずれ下がっていくと思うと、年明けからの株価の大幅な値下がりには不安を抱かざるを得ません。

モニターから No. 7

「食の安全について～食料品の不正販売について」

先般、異物混入食品の不正販売が行われたとの新聞報道がありました。大手スーパーからの廃棄処分の食料品を廃棄業者が不正に転売し、スーパーなどで低価格で販売していた事件がありました。何という恐ろしいことが起きたのかと驚きました。

私たちも先般の日立セメント神立資源リサイクルセンターで賞味期限の来た食品のバイオガス燃料としてのリサイクルを見ましたが、今回こんなことが起きたことに改めて感じ入りました。研修時にもその反動を感じていました。誰でも毎日の食品には少しでも安い品物を毎日、新聞に入ってくるチラシを気にしたり、閉店間際のスーパーに半額割引を狙って出かけたりしていることを思い出しました。

こんな中で食の安全とは何か、一部の業者によりとんでもない食の安全が脅かされるのは許されていいのか。絶対許してはいけないと思いました。私たちモニターは、特に感じなければならぬと思いました。

食の安全に関する監督官庁は、法の下で断固処分するとともに二度と発生しないよう全食品業者を、国民の前で強力に指導するべきと考えます。のど元過ぎればなんとやら、最近の新聞は調査経過の報道はありません。取り調べ結果をきちんと国民に報告すべきと考えます。

今回の事件で、改めて思い起こしたことがあります。それは、賞味期限と生産量です。食品は販売状況からして生産量を考えていると思いますが、このことが全く考えていないかのような廃棄処分がなされています。なぜこんなことが行われるのか、全くもったいないことであるとともに、今回のような流通機構の中での不正販売が起こるのだと思います。賞味期限を守って需要に見合った食品の生産を協力に指導し、必要に応じて監督していくことが必要と考えます。

モニターから No. 8

マクロ経済スライド制の導入で受け取る年金は下がっており、物価は上昇して差が大きくなっています。景気が良くなっている実感はありません。(土浦)ハローワーク、またはシルバー人材センターに行って、職歴不問・年齢不問で仕事を探そうとしても、年齢は70歳以下でなければ採用は不可でした。

高齢者活躍は、地方では無理なのかもしれません。

モニターから No. 9

私の景況感？株価とは無縁な年金生活者です。物価が上がれば自然に買い物を控えます。消費税が8%→10%になったとしても、政府がやる事なので受け容れるだけです。野菜の値段が上がると農家の喜びを思います。低所得者に高価な食材は買えません。農家の休耕地をお借りして野菜は自産自消で賄っています。一時しのぎです。さしたる貯蓄もありませんが、借金もありません。政治家さんのようにどんどん借金を殖やして、そのツケを他人(国民や子孫)に押し付ける無責任さはありません。70年間経済の復興発展を目指して来た日本は一体何を学んできたのでしょうか？

国の応急処置的政策を評価する近々一年間の景況感なんて一体何でしょう？なぜ政治も企業も世間も五十年先～百年先の日本を目指すビジョンを描けないのでしょうか？派遣社員やフリーターたちが結婚も出産も子育ても教育も出来ない待遇状態で企業や社会に奉仕させられている有り様を見れば「自分さえ良ければ、他はどうでも良い」そんな日本人の一人として、後ろめたい思いと個人でしかない自分の無力感に落ち込むばかりです。以上が私の今の景況感です。

モニターから No. 10

景気が良くなったと言われているけど、特に実感はない。ただ悪くなった感じもないので、実際、我が家にとっても少しは上向き傾向なのかとは思う。一時的ではあったが株価も上昇し、バブル期以来の高値などとニュースを聞くと、あの時ほどの活気は市場にも世の中にも程遠いものがある気がしている。

この先々のことを考えると、老後に備えて無駄な買い物は少しでも控えて貯蓄にまわそうと考えてはいるが、難しいのが現状である。

モニターから No. 11

細かい数字や経済のことは分かりませんが、自分で感じたことは物価が上がったかな？と感じます。生鮮食品はその時の気候や状況で物価が変わりますが、他の食品は全体的に値上げされているように感じます。お菓子屋パンなど……。食品じゃなくても、日用品やレジャー施設の入場券なども値上がりしています。以前に比べるとガソリンは少し安くなってありがたいですが、物価が上がっているのに、働く賃金は変わらないところは残念です……。いろいろ高くなって年に3回の旅行が2回になったり、食品の値上がりで外食も少し控えようかとも思います。これからどうなっていくのかな……と少し心配です。

モニターから No. 12

おだやかな新年、暖冬と言われた28年の幕開け、下旬に至っては大雪が日本列島をおそう等、

思わぬ厳冬と化しました。鹿児島出身の私は12月はじめから故郷に帰っておりましたら、5年ぶりの大雪。すべての交通機関は止まり、水道管が破れたり大変な騒ぎでした。農業県の鹿児島でさえ野菜の高騰。すぐさま家庭の食卓にひびきます。

大根の安い時期、またおすそ分けに頂いた時等、切り干し大根を作っておいたり、年中あまり価格に差のない干物等を使って家族の栄養管理にも気を配り、大豆やひじきの煮物等で食卓を賑わせましょう。こんなことで、急場をしのぐのはどうでしょうか。

それにしても近頃の異常気象には振り回されますね。今年の夏もまた酷暑になるのでしょうか。

モニターから No. 13

銀座や渋谷などに出掛けると、外国からの爆買い客に混じって楽しそうに買い物をする人たちを見かけます。世の中にお金が回っているのを感じる瞬間でもあります。しかし、それは一部で、実際には不安定な雇用の下、低賃金で働かざるを得ない現実があります。豊かな暮らしで満足している人はそんなにはいないでしょう。我が家も、いつも家計簿を見てはため息ばかりです。

現役時代から年金生活へ移行していく年齢に達すると、景気がいいという話は絵空事。日々の生活費をどうやって節約していくかで頭を悩ませています。また、医療費や介護保険料の負担増などの話を聞くと、不安になってしまいます。

ますます苦しくなるだろう生活を思うと明るいビジョンなど持てませんが、唯一出来ることは笑いのある生活をしていくことだと思い、いいものを安く買ったなど、色々なプチ幸せを見つけています。

モニターから No. 14

最近、世の中全体がグレーな感じがします。それは今までより貧富の差が大きくなっていること。給食費の滞納、朝食抜き、母子家庭においては働く現状もなかなか正規労働者になれず、低賃金で社会保険も支払えない。また高齢者においても、最低限の年金(とても生活できる金額とは思えない)で食費を切り詰め光熱費の節約、結果孤独死という現象も年々増加の傾向にあります。

国の施策においても、一番予算を必要とする低所得者層には削減する。今考えられている消費税の導入に伴い軽減税率の導入についても高所得者ほど有利感を与える手法は疑問が残ります。一部の者だけが得をするような政策はいかなるものか。社会全体の構造がいびつ化し、平等感が欠落してきている！！

モニターから No. 15

1年間、消費でやはり消費税8%が大きく、安い物を走り買い求めても8%の大きさが身に染みた。低所得者・生活保護の方々には本当に厳しいと思える。スーパーの半額で何とかしのいでいる。今後、10%になったらどうなるか。景気にブレーキがかかると思われる。政治家の気付きに期待したい。それしかない。残念ながら、軽減税率も混乱している中で。

モニターから No. 16

今の世の中、自分の住んでいる地域だけのことでなく、日本中そして世界中のこととリンクして物事が動いているので、ちっぽけな自分だけドボンヤリしてられないと思っています！でも

もう給料が上がる年代では無く、頂けるだけでありがたいと感謝して暮らしています。ガソリンが安くなり、車を気軽に使えます。でも株価は安くなり、寂しさも感じています。

景気に一喜一憂せず、現在の生活を楽しもうと思います。

モニターから No. 17

いろいろ考えると暗くなってしまいます。消費税、物価の値上がり、株価の値下がり、皆、不安材料です。値段が変わらなくとも量が減っているもの等、分かりづらいが少なからずあります。(チーズは3/4以下)

ユーロの先行不透明感も景気に影響してくることでしょう。日本の借金も、若い人たちが減っているのにまだまだ増えることでしょう。オリンピックでも建物、テロ対策等、大きく予算が増えることと思います。災害復興もまだまだこれからなのに、新たな災害も無くなることはないと思います。先の先まで考えて、様々なことを決めていって欲しいと思います。

モニターから No. 18

この1年を振り返ると、転職に進級と今までに比べてとても変化の多い1年だった。子供が成長し食べる量も増えたのも関係しているが、エンゲル係数が高くなったと感じている。世の中の景気は少し良くなったのかなと感じる部分もあるが、まだまだ家庭を持って若い私たちは、自分の家計のことばかり注目してしまう。これから教育費も増えていくので、景気や物価に左右されぬように、日々の消費を意識して生活していきたいと思う。

モニターから No. 19

土浦市ではゴミの細分化が進み、可燃・不燃ゴミの他に生ゴミとプラスチックが加わり、選別にも細かな配慮が必要になってきました。良いタイミングでくらしのセミナーでリサイクルセンターの見学があり、参加させて頂きました。

普段、ゴミ出しをする際に、プラスチックゴミは洗って出すべきなのか、生ゴミを出す際に液がでないように二重三重に袋に入れた場合、それらはどのように分別されているのだろうか等、いろいろな疑問がありましたが、見学することによって疑問点が明らかになっていきました。行程のなかできちんと分別されていること、更にプラスチックが燃料の一部として役立っていること等、改めて知ることができました。

日本のリサイクル技術の向上に感心し、ゴミの分別によって再利用に協力しなくてはと、心を新たにしました。今まではゴミを捨てるだけで、どのように再利用されているかが曖昧でしたが、ゴミの分別がいかに大切であるかということを学ばせて頂きました。

モニターから No. 20

日本経済は世界情勢や環境変化の影響を受けつつも、回復基調にあると言われる。一方では、私など年金生活者にとっては企業業績の好調の波はまだ届かず、停滞感が否めない。更に医療・介護に要する費用は増加し続け、高齢者を取り巻く環境には厳しいものがある。地方にいると公共料金は値上がりしたが、食料品などの物価上昇はそれほど感じていない。生活必需品以外物品・外食・贅沢品などは買い控えている実感がある。しかし、「よいものを安く買う」という知恵はついてきたように思う。消費者による商品・店舗の差別化やネット販売利用などである。

来年には食品全般を除いて消費税が10%に上がることだが、長い老境に備え、先の見通しが見えない分、不安ではある。年金の目減り感も顕著であるが、消費者としての知恵も試されるところと思う。

モニターから No. 21

最近、テレビを騒がした「カレーチェーン店の廃棄したカツを横流しした」という問題は、いろいろ考えさせられました。世界中では食べるものがなくて餓死する人もいるというのに、そんなに多くの食品を廃棄する現実。そしてこの頃の生鮮食品の値上がりに、子育て世代は何とか少しでも安く、愛する子供をお腹いっぱいにさせてあげたいと、安いものに飛びつかざるを得ない現実です。私も3人の子供の食べ盛りを思い出すと、同感だからです。

でも、やはり安過ぎるものは「何かおかしいのでは？」と思う気持ちを、あえて持たねばならないんだということを今回教えられた気がします。

モニターから No. 22

「景況感」を書けるほどには経済学を知らないし、お金を動かしているわけでないけれど、買い物その他、支払い全体にわたって、ものの値上がりには驚いているし、それを補うべき年金支給はないどころか年金は減額されていて、二重に責められている感じがしている。いきおい、出費を抑えようという感情と行動とが働くことになる。

日銀の総裁とかの言う、物価を上げて企業が儲かるようにして、その儲けを賃金の増加ということで還元するという発想は理解しがたい。それなら物価を上げずに賃金もそのままにしておいたっていいではないか。実際に、儲かったはずの企業が賃金を上げているという話はごく一部の大企業以外からは聞こえてこない。

物価の値上げは巧妙で、以前と同じパッケージなのに内容量を少しずつ減らしながら行われている。それに加えて金額上の上昇もあり、消費税の上昇もあって、消費者としては買い控えで対応するしかない。値上げをすれば買われる量が減る、ということは庶民なら当然に思うのだが、経済学者や日銀総裁はそうは思わないとは不思議である。政府がいくら言っても、企業は賃上げを簡単には行わないし、値上げで儲かった分はどこに消えるのか、「値上げと消費税で取られた消費者のみが損をしている」というのが「景況感」と言えばいい。

モニターから No. 23

2017年4月に消費税率が10%へと引き上げられます。およそ2年前に5%から8%へと引き上げられた際に家計には予想以上に大きな打撃でした。今後10%へと増税するにあたって軽減税率が導入され、食品全般がその対象になると決まりました。家計を考えた政策であり、痛税感が緩和するとの思いから安堵しています。

また昨今、消費増税や円安による原材料の値上げで食品を中心に物の値段が上がっています。一方で少子高齢化が進んで、今後されに年金受給額の減額、社会保険料の負担増など厳しい現実が考えられます。しかしながら、ガソリンの価格が安値で落ち着いているなどの明るい兆しも見えますので、悲観的になるばかりではなく、自分に出来得ることを前向きに日々行い、家計の防衛を心掛けたいと思っております。

モニターから No. 24

私のような年金受給者の景況感は、所得の向上があるわけでないのに消費意欲が旺盛であることから、現役世代の景況感とはベクトルが異なるのではないかと思われているようです。そこで、近々に予定されている消費税の増税は消費意欲を減退させるだろうか。年金生活者は社会生活のテリトリーも狭くなっているのに、不必要なものを消費する意欲は年々減少してゆくのは必然で、消費税増税により極端に景況感が悪くなることはないと思います。

しかしながら、新年になり世界的に不確実な経済情勢が勢力を増しているようで、このことにより経済が停滞していくにもかかわらずインフレが進行するようになると、所得の向上がない年金受給者の消費者としての景況感はかなり悪くなるのではないかと苦慮致します。年金受給者の景況感はインフレにより消費活動が停滞することでわかるのではないのでしょうか。

モニターから No. 25

消費税アップ以来、物価高騰等で年金生活者の私にとっての景況感は、マイナスに傾いています。そこで暮らしにしわ寄せがこないよう、いろいろと考える消費者になりました。

買い物をする時も、必要かどうかよく考える。値段も、ウォーキングで健康を兼ね店の比較を試みる。これは色々な発見があり、けっこう楽しいものです。料理にしても安い材料でバランスを考え、いかに豪華に見せるか日常的脳トレをしています。賢い消費者としての勉強は「暮らしの豆知識」を良く読みます。色々な消費者問題を広範囲にわたり、分かりやすく解説してあり、大変参考になります。

景気の不透明さ、政治的不安定等、これから世の中どうなっていくのか心配になりますが、どんな時代になっても笑いを失わず、心に余裕を持って人生を楽しんでいこうと思います。

